

No.21 移住定住・交流・観光の推進〈交流・観光〉 (企画政策課)

令和5年度までにめざす姿

- ①町外からの交流人口の増加を図るとともに、地域内交流を促進し、地域の活性化を図ります。
- ②滞在・交流型観光を推進し、南部町の里地里山などの資源を活かした観光地としての魅力を向上し、来町者の増加と地域経済の活性化を図ります。

令和2年度にめざした成果

- ①南部町特有の里地里山の魅力を活かした情報発信による誘客拡大を図ります。
- ②香港などを対象としたモニターツアー造成、集客PRなどによりインバウンド誘客の拡大を図ります。

令和2年度にめざした活動

里地里山の豊かな自然を活かしたトレイルランニングなどのスポーツツーリズムに加え、農家民泊を中心とした体験型観光などを国内外にPRします。また、モニターツアーなども実施し南部町に魅力を広く発信するとともに、南部町の特徴を活かした土産物の開発にも着手します。

令和2年度の成果

インバウンド誘客の拡大を図ってきたが、コロナウイルス感染症拡大により、宿泊者数は前年比で78.5%となっています。土産物として、伐採された南部町の桜の老木を活かしたブローチなどの販売は公表を博しています。
町内宿泊者数（4～12月）：5,136人
【前年：6,542人】・・・対前年同期比78.5%

令和2年度の問題

コロナによるインバウンド誘客は現時点では困難なことから、ターゲットを近隣地とするマイクロツーリズムに移行するとともに、より感染リスクの少ないアウトドアスポーツニーズを捉えていくことが必要となりました。

令和3年度以降の方策

(1) 達成できた事項をさらに伸ばす方策

コロナ禍において、里山体験に対するニーズが高まっていることから、サイクリング、ウォークなどを主軸とするコンテンツで情報発信を行い、まずは近隣地からの誘客を図ります。

(2) 解決すべき問題への方策

自然豊かでスポーツが楽しめるまちとして、まずはイベント開催等において機運醸成を図ります。

(3) 新たに取組む方策

他町と連携したサイクリングや町内でのポタリング、また2年度に試行的に開催したなんぶ里山チャレンジランなどのイベントを開催します。